

小学校

友だちの良いところ探し

○目標となる資質・能力

思いやり・他者理解、自尊感情・自己効力感

○指導のねらい

友だちの良いところを探し伝え合う活動を通して、他者を敬い、自己理解を深め、互いに認め合える集団づくりを目指す

○準備するもの

ワークシート×児童数、良いところカード×児童数

○教育課程、実施時期

特別活動、2学期以降

○留意点など

活動を取り入れる時期についてはクラスの状況等を十分に考慮する

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の目標を知り、学習の見通しを持つ 友だちの良いところを見つけよう	・自分の良いところを人に見つけてもらう活動をすることを伝える
展開 35分	2 自分の好きなアニメキャラクターの良いところを探す 3 代表的なキャラクターをいくつか取り上げ、みんなで良いところを考える 4 「良いところカード」に友だちの良いところを記入する 5 相手に「良いところカード」の内容を読みあげ、感想を書く	・ワークシートに書かせて、班内で発表させる ・良いところを探すときの視点を身につけさせる ・相手の選び方には十分考慮する ・箇条書きで書かせ、書く数を指定した方がよい ・相手の名前を言ってから読むように指示する ・言われた方は「良いところを見てくれてありがとう」と言う
まとめ 5分	6 本時の学習を振り返り、感想を発表する	・自分の良いところ、友だちの良いところを見つけられると楽しいことを共有させる

参考

○「自分の好きなアニメキャラクターの良いところを探す」について

自分の好きなアニメのキャラクターを1人選ばせて、そのキャラクターの良いところを書かせる。良いところ探しの導入として行う。キャラクターを選ぶのに時間がかかったりしないよう、予め決めておくように前日に指示しておくなどの工夫をする。

○「代表的なキャラクターをいくつか取り上げ、みんなで良いところを考える」について

展開例の2で出されたキャラクターから選んでもよいが、みんなが知っていて、性格がわかりやすいキャラクターを指定するとよい。いつも優しさであふれているようなキャラクターだけでなく、普段は乱暴だが実はとても優しいというようなキャラクターなども出して、普段見えにくい部分を探る視点を意識させるとよい。

○「『良いところカード』に友だちの良いところを記入する」について

ペアになって相手の良いところをカードに記入させる。ペアの作り方は、クラスの雰囲気や状況などによって十分に配慮する必要がある。隣同士、同性同士、仲の良い者同士、くじで決める、先生が指定して決めるなど、最も適した方法を選択すること。カードは箇条書きで書かせ、「必ず3つ書きましょう」というように、記入する数を指定しておく、言われた児童が数の差で一喜一憂することを防止できる。また、悪意の有無に関わらず、相手が悲しむ内容が書かれていないかを、教師は十分に机間指導等でチェックすることが大切である。

○「相手に『良いところカード』の内容を読みあげ、感想を書く」について

完成したカードの内容を、相手に直接読み上げさせる。教師が手本を見せるなどして、相手の顔を見て気持ちを込めて読み上げさせるように指示する。「〇〇さんの良いところは～～なところですよ」と必ず最初に相手の名前を言わせるようにする。すべて言い終わった後に、言われた方は必ず「私の良いところを見てくれてありがとうございます」と言わせるようにする。お互いが言い終わったら、カードを交換し、ワークシートの感想欄を書かせるが、時間があるようなら、同じことを班の仲間に向かって言わせて他己紹介させてもよい。カードについては、書かれた内容を確認するために、教師が一度回収して点検する。その後、封筒に入れて本人に渡したり、クラス掲示したりするなど、状況に応じた適切な方法で扱うようにする。

資料

参考文献 「心の健康教育プログラム」

友だちの良いところをさがそう

年 組 名前：

1 アニメキャラクターの良いところをさがそう

アニメキャラクター・・・

良いところ・・・

2 じぶんの良いところを聞いて、思ったことを書きましょう

良いところカード

さんの良いところ

より

良いところカード

さんの良いところ

より